



2024年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月15日

上場会社名 株式会社リファインバースグループ 上場取引所 東
コード番号 7375 URL https://www.r-inverse.com
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 越智 晶
問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 蓮池 智嗣 TEL 03 (6281) 4879
四半期報告書提出予定日 2024年5月15日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第3四半期の連結業績 (2023年7月1日～2024年3月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第3四半期	2,809	△19.0	13	△91.8	△8	—	△16	—
2023年6月期第3四半期	3,470	26.2	170	△1.9	143	5.5	105	△15.5

(注) 包括利益 2024年6月期第3四半期 △16百万円 (—%) 2023年6月期第3四半期 105百万円 (△15.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第3四半期	△4.97	—
2023年6月期第3四半期	31.69	31.35

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第3四半期	3,486	103	1.3
2023年6月期	3,783	99	1.5

(参考) 自己資本 2024年6月期第3四半期 43百万円 2023年6月期 55百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年6月期	—	0.00	—	—	—
2024年6月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2024年6月期の連結業績予想 (2023年7月1日～2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,900	9.6	630	298.6	595	238.1	550	—	165.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

2024年6月期の連結業績予想については、現時点での通期の合理的な業績予想の算定が困難であるため、直近に公表されている業績予想を据え置いております。詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年6月期3Q	3,348,421株	2023年6月期	3,338,221株
② 期末自己株式数	2024年6月期3Q	137株	2023年6月期	137株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年6月期3Q	3,340,246株	2023年6月期3Q	3,321,275株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当社グループは、前連結会計年度に引き続き既存事業で徹底したコスト削減を進めながら、今後の成長の核となる新規事業領域の拡大に向けて、持続的な成長のための事業基盤の強化に努めてまいりました。また、SDGsやサーキュラーエコノミーの文脈において事業機会は増加しており、事業化の取組みを加速しております。

素材ビジネスにおいては、当社の主力製品である再生塩化ビニルコンパウンド「リファインパウダー」の引合いが前連結会計年度に引き続き好調なことに加え、2023年11月1日の日本リサイクルカーペット協会の設立に伴い、当社は同協会の事務局メンバーとしてリサイクルカーペットの更なる普及に取り組んでおります。また、再生ナイロン樹脂「REAMIDE®」（リアミド）は、製品の高付加価値化を指向し、新規受注獲得のため営業活動の強化に取り組んでおりますが、個々の案件の進捗が遅延しており新規受注の獲得に至っていない案件が複数ございます。国内外を問わず外部企業等との連携や弊社技術のライセンス供与等の引合いに対応し、更なる収益・利益増加に貢献する見込みであるものの、案件進捗は当初想定していたよりも時間を要しております。また、ソリューション事業においては、顧客の脱炭素に向けた取組みが加速しており、資源循環における当社グループのノウハウへの引合いが増加しております。顧客企業からのコンサルティング受託、再資源化技術開発、ライセンス提供先への技術指導、設備設計業務受託などで収益源が拡大し収益増加を見込んでおりますが、ライセンス供与の取組みに時間を要していることから収益貢献時期は当初の見込みより遅延しております。

資源ビジネスにおいては、組織再編によりオペレーションの見直しやリソース配分の最適化を行いながらDX化等を進めたことで生産性が向上しており、安定的に利益を確保しております。一方で、連結子会社の株式会社コネクションとの組織再編に伴い受注件数が一時的に減少していることから利益額は伸び悩んでおり、受注件数を回復すべく営業およびドライバー等のリソース強化を行っております。また、新規事業領域となる廃プラ資源化への取組みを加速し、既存事業での安定的な成長とともに収益基盤の強化に努めております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高2,809,758千円（前年同期比19.0%減）、営業利益13,989千円（前年同期比91.8%減）、経常損失8,525千円（前年同四半期は経常利益143,217千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失16,616千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益105,238千円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、記載のセグメント別の金額はセグメント間取引の相殺前の数値です。

① 素材ビジネス

素材ビジネスにつきましては、前連結会計年度に引き続きセグメント損益は黒字で推移しております。廃カーペットタイル受入処理量は堅調に推移し、廃カーペットタイルを再資源化した再生塩化ビニルコンパウンド「リファインパウダー」は、脱炭素の流れを受けて好調な引合いが継続しております。大口顧客の工場火災により一時的な受注減少があったものの、当第3四半期連結会計期間より工場が再稼働し受注が回復しております。また、自動車エアバッグの基布や廃棄漁網等を再資源化したナイロン樹脂「REAMIDE®」（リアミド）は高付加価値化を指向しており、特にアパレルや成型パーツ向け等の複数の業界に対する提案、および、サンプル提供は進んでおりますが、新規受注の獲得に苦戦しております。そのため、営業人材の補強や営業政策の仕組み化を行うなど、提案力強化に向けた活動を進めております。さらに、当社自動車エアバッグ基布リサイクル技術や廃漁網リサイクル技術の海外企業へのライセンス供与やライセンス先への技術指導等、当社のビジネスノウハウに対する引合いは好調であり、収益機会が拡大しておりますが、当初の予定よりも案件の進捗に時間を要しており、収益・利益への貢献が遅延しているため、前年同期比で減収減益となっております。

この結果、売上高は953,555千円（前年同期比20.9%減）、セグメント利益は66,572千円（前年同期比33.8%減）となりました。

② 資源ビジネス

資源ビジネスにつきましては、組織再編によりオペレーションの見直しやリソースの最適化を進め、産業廃棄物処理事業で安定的な利益を維持しております。収集運搬・中間処理を一括受注できる体制と顧客要望に対応したサービスを強みに営業活動を強化したことに加え、DX化・廃材処理バリューチェーン改革など顧客の収益性を高める取組みが功を奏し、原状回復工事の受注獲得を継続しております。また、ケミカルリサイクル用廃プラ供給の事業化や廃プラ資源化新商流の創出、新規事業領域となる廃プラ資源化への取組みを加速しております。しかしながら、当四半期連結累計期間においては、株式会社コネクションとの組織再編の過渡期で一時的に受注が低調となったことから、前年同期比で減収となっております。今後の事業成長に向け営業活動を強化しており大口顧客との取引も開始を見込んでおります。それに伴い、中間処理工場および現場ドライバーの補強といったリソースの強化を先行して行った影響で、前年同期比で減益となっております。

この結果、売上高は1,903,372千円（前年同期比18.0%減）、セグメント利益は371,099千円（前年同期比16.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,367,695千円となり、前連結会計年度末（以下「前年度末」という）と比べ309,299千円減少しております。これは、主として現金及び預金が379,184千円減少、商品及び製品が19,355千円、仕掛品が20,392千円、その他（流動資産）が25,188千円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は2,118,512千円となり、前年度末と比べ12,444千円増加しております。これは、主として有形固定資産が58,767千円減少、敷金及び保証金が71,657千円増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,098,769千円となり、前年度末と比べ70,281千円減少しております。これは、主として短期借入金が50,000千円、1年内返済予定の長期借入金が31,436千円減少したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は2,283,773千円となり、前年度末と比べ230,536千円減少しております。これは、主として長期借入金が199,730千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は103,664千円となり、前年度末と比べ3,962千円増加しております。これは、主として新株予約権が15,201千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年6月期の通期の連結業績予想につきましては、2023年8月29日の決算短信で公表しました通期の連結業績予想の内容を据え置いております。

なお、通期業績予想につきましては、素材ビジネスにおける当社技術のライセンス契約のライセンス売上計上と、資源ビジネスにおける受注動向を見極める必要があり、現在精査中です。

業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	872,955	493,770
受取手形及び売掛金	529,947	543,163
商品及び製品	163,359	182,714
仕掛品	30,905	51,297
原材料及び貯蔵品	44,466	44,835
前払費用	27,641	25,499
未収還付法人税等	7,217	1
その他	3,785	28,974
貸倒引当金	△3,282	△2,562
流動資産合計	1,676,994	1,367,695
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,267,349	1,266,350
機械装置及び運搬具	1,238,489	1,258,958
工具、器具及び備品	111,159	114,597
土地	520,100	520,100
リース資産	459,829	331,987
建設仮勘定	4,584	49,180
減価償却累計額	△1,697,065	△1,695,496
有形固定資産合計	1,904,447	1,845,679
無形固定資産		
	15,092	19,688
投資その他の資産		
投資有価証券	20,000	20,000
繰延税金資産	51,413	47,192
敷金及び保証金	123,002	194,660
その他	20,001	25,588
貸倒引当金	△27,888	△34,296
投資その他の資産合計	186,529	253,144
固定資産合計	2,106,068	2,118,512
資産合計	3,783,063	3,486,207

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	189,384	191,923
短期借入金	100,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	481,980	450,544
リース債務	71,316	67,125
未払金	95,358	153,262
未払費用	93,388	93,310
未払法人税等	62,898	999
未払消費税等	48,521	19,981
賞与引当金	3,868	20,672
受注損失引当金	13,224	15,921
その他	9,110	35,028
流動負債合計	1,169,051	1,098,769
固定負債		
長期借入金	2,204,074	2,004,344
リース債務	134,431	116,778
繰延税金負債	8,599	5,306
資産除去債務	156,653	157,345
その他	10,551	—
固定負債合計	2,514,309	2,283,773
負債合計	3,683,360	3,382,543
純資産の部		
株主資本		
資本金	160,196	162,885
資本剰余金	201,080	203,768
利益剰余金	△305,804	△322,421
自己株式	△251	△251
株主資本合計	55,220	43,981
新株予約権	44,481	59,683
純資産合計	99,702	103,664
負債純資産合計	3,783,063	3,486,207

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)
売上高	3,470,616	2,809,758
売上原価	2,429,296	1,922,365
売上総利益	1,041,319	887,393
販売費及び一般管理費	870,965	873,403
営業利益	170,354	13,989
営業外収益		
受取利息	29	5
受取賃貸料	2,286	—
助成金収入	2,764	969
その他	4,241	791
営業外収益合計	9,321	1,767
営業外費用		
支払利息	22,178	23,772
減価償却費	8,088	—
開業費償却	3,936	—
雑損失	271	326
その他	1,982	182
営業外費用合計	36,457	24,281
経常利益又は経常損失(△)	143,217	△8,525
特別利益		
固定資産売却益	4,301	14,138
新株予約権戻入益	707	664
特別利益合計	5,009	14,802
特別損失		
固定資産除却損	6,852	3,990
特別損失合計	6,852	3,990
税金等調整前四半期純利益	141,374	2,287
法人税、住民税及び事業税	55,878	17,976
法人税等調整額	△19,743	928
法人税等合計	36,135	18,904
四半期純利益又は四半期純損失(△)	105,238	△16,616
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	105,238	△16,616

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	105,238	△16,616
四半期包括利益	105,238	△16,616
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	105,238	△16,616
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間（自 2022年7月1日 至 2023年3月31日）

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

新株予約権の行使による新株発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ7,321千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が160,196千円、資本剰余金が201,080千円となっております。

当第3四半期連結累計期間（自 2023年7月1日 至 2024年3月31日）

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2022年7月1日 至 2023年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	素材ビジネス	資源ビジネス	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,152,359	2,318,256	3,470,616	3,470,616
セグメント間の内部売上高 又は振替高	53,128	1,522	54,650	54,650
計	1,205,487	2,319,779	3,525,266	3,525,266
セグメント利益	100,637	445,881	546,518	546,518

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

第1四半期連結会計期間において、株式会社コネクションの株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「資源ビジネス」のセグメント資産が1,595,878千円増加しております。

3. 報告セグメント利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	546,518
セグメント間取引消去	2,009
未実現利益の調整額	4,704
全社費用（注）	△382,878
四半期連結損益計算書の営業利益	170,354

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

資源ビジネスにおいて、第1四半期連結会計期間において、株式会社コネクションの株式を取得し、同社を連結子会社といたしました。当事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては451,912千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2023年7月1日 至 2024年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	素材ビジネス	資源ビジネス	計	
売上高				
外部顧客への売上高	907,229	1,902,529	2,809,758	2,809,758
セグメント間の内部売上高 又は振替高	46,325	843	47,168	47,168
計	953,555	1,903,372	2,856,927	2,856,927
セグメント利益	66,572	371,099	437,671	437,671

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当該事項はありません。

3. 報告セグメント利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	437,671
セグメント間取引消去	8,227
未実現利益の調整額	△1,040
全社費用（注）	△430,869
四半期連結損益計算書の営業利益	13,989

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。